

訪問看護（リハビリ）

今回は、訪問看護が行うリハビリテーションについてご紹介します。

訪問看護のリハビリテーションは、リハビリが必要であると主治医が認めた方に対して、居宅を訪問して、その方の活動と参加に焦点を当て、基礎的な運動機能の改善及び維持、日常生活動作の訓練とアドバイス等を行います。

症状に応じて、看護師以外に、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が担当し、医師の指示に基づいてサポートします。

また、訪問看護の一環としてリハビリを実施するため「**訪問看護計画書**」に看護・リハビリテーションの目標、問題点・解決策、その評価をまとめたものを、主治医のほか療養

者や家族にも定期的に提出し、サービス提供を行っています。

訪問看護ステーションの情報は、はち丸在宅支援センターホームページの「**医療資源マップ**」
(<https://zaitakukaigo.nagoya/shigen>)
にアップしておりますので、ご活用ください。

●ご案内●

2021年秋に発行した「はち丸っとvol.7」において、難病医療費助成制度の対象疾病を333と記載しておりましたが、令和3年11月1日から338疾病に拡大されました。

各区はち丸在宅支援センターの連絡先

千種区 ☎052-732-0874	瑞穂区 ☎052-852-0874	名東区 ☎052-760-0874
東区 ☎052-933-0874	熱田区 ☎052-683-0874	天白区 ☎052-800-0874
北区 ☎052-982-0874	中川区 ☎052-354-0874	
西区 ☎052-561-0874	港区 ☎052-652-0874	
中村区 ☎052-481-0874	南区 ☎052-823-0874	
中区 ☎052-201-0874	守山区 ☎052-795-0874	
昭和区 ☎052-763-0874	緑区 ☎052-896-0874	


受付時間：月曜～金曜（祝日・年末年始除く）午前9時～午後5時

はち丸在宅支援センターは、名古屋市から委託を受け、一般社団法人名古屋市医師会が運営しています。



お知らせ

令和4年度から『はち丸っと』発行回数が変わります
次年度から『はち丸っと』は、年度内2回の発行となります。
また、はち丸在宅支援センターホームページでは、より充実したコンテンツをお届けする予定です。『はち丸っと』そしてホームページを通じて、はち丸在宅支援センターの取り組みをご紹介しますので、引き続きご愛読をよろしくお願ひします。



ご意見募集

皆様のご意見や感想をお聞かせください。



在宅医療と介護の連携推進

はち丸っと



多職種向け機関紙
Vol. 08
2022年 早春号
【編集・発行】
一般社団法人名古屋市医師会
はち丸在宅支援センター

はち丸在宅支援センターは、名古屋市医師会が名古屋市委託事業として実施している「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」における在宅療養支援窓口として各区に設置しています。はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応を始め、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っております。

在宅療養の普及啓発について

はち丸在宅支援センターが行っている事業の一つに、「在宅療養に関する普及啓発の実施」があります。この事業は、市民の皆様が病気になったり介護が必要になったりした場合でも、医療・介護のサービスを利用しながら、在宅での生活を続けられることを知っていただくことを目的としています。コロナ禍以前では、「名古屋市在宅医療・介護のしおり」（以下、「しおり」）を元に、はち丸在宅支援センター職員が出張講座など市民の皆様の小規模な集まり等に出向いて、在宅療養についてのお話をしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が拡がり、対面での普及啓発活動は休止。終息が見えないコロナ禍で、新たな普及啓発の方法を検討し、「しおり」を元にした動画を作成しました。

動画『いつまでも自分らしく生きるために～名古屋市在宅医療・介護のしおり～』では、医療と介護の多職種とサービスの紹介はもちろん、食べられなくなった時や動けなくなった時、また「がん」「認知症」になった場合の在宅療養について、さらに「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」について、分かりやすく説明しています。



（実際の動画画面より）



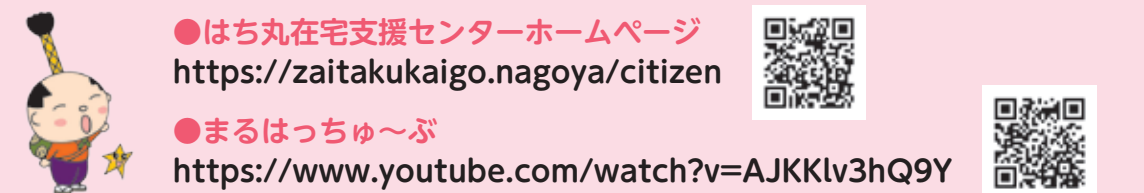
動画は、はち丸在宅支援センターホームページ、名古屋市の動画サイト「まるはっちゅ〜ぶ」で公開しております。また、DVD化をして、区役所・いきいき支援センター、そして一部医療機関に配布すると同時に、高齢者サロンなど地域の集まりで上映する際には貸し出しも行っていきます。貸し出しについては、各区はち丸在宅支援センターまでお尋ねください。

終息が見えないコロナ禍でも、市民の皆様が安心して希望する場所で療養生活が送れるよう

情報提供を続けると同時に、不安や心配事がある場合の相談窓口として「はち丸在宅支援センター」を設けておりますので、ぜひご相談ください。また、ご利用いただけるよう、今後も普及啓発活動を続けて行きます。

●はち丸在宅支援センターホームページ
<https://zaitakukaigo.nagoya/citizen>

●まるはっちゅ〜ぶ
<https://www.youtube.com/watch?v=AJKKlv3hQ9Y>



令和3年度 ACP研修会(フォローアップ編)



令和元年度「ACP研修会(概論編)」、令和2年度「ACP研修会～基礎編～」(WEB)そして今年度「ACP研修会(概論編)」(WEB)を経て、「ACP研修会(フォローアップ編)」をWEB開催しています。1月13日の千種区を皮切りに、3月25日の港区まで、全16区で行います。

名古屋市医師会では医師を始めとする多職種のACPに対する理解を深め、円滑な連携により在宅療養者が安心して生活ができることを目的として、多職種対象の本研修会を行ってきました。概論編では、基礎的な知識を学ぶと同時にチームによる意思決定支援についての理解、各職種の実践の中にあるACPの理解をすすめる、フォローアップ編では概論編・基礎編の修了者を対象に、知識の確認と同時に実践現場からの報告・考察等を行い、実践で活かせる内容をお伝えしています。

★東ブロック

	千種	昭和	守山	名東
テーマ	多職種でACPに取り組むために～医師、看護師、ケアマネジャーの立場から～	病院、在宅、それぞれの立場からACPの実践プロセスを考える	あらためてACPをして、わたしをしる	支援の現場(病院、在宅)からACPの実践プロセスを考える
出演者(職種)	医師・看護師(訪看)・ケアマネジャー	医師・薬剤師・看護師(病院/訪看)	医師・在宅医療インテグレーター	医師・看護師(病院/訪看)・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー
概要	・各多職種からの実践報告	・事例紹介 「循環作動薬の持続投与が必要な患者に対し、ACPを実践し自宅退院を可能にした1事例」 「死ぬのは怖くないけど、痛みと苦しみは嫌だよ」 ・質疑応答	・講義	・講義 「概論編を振り返って」 ・実践報告 「それぞれのACP～病院と在宅の現場から」
配信日	1月13日(木)	2月24日(木)	2月15日(火)	3月24日(木)

★南ブロック

	瑞穂	南	緑	天白
テーマ	“その人らしく”を支えるACP～多職種の実践を通して	実践事例から考えるACP	これなら始められるACP	ACPにおける多職種での情報共有
出演者(職種)	ケアマネジャー・看護師(病院/訪看)	医師・ケアマネジャー・看護師(病院/訪看)	医師・ケアマネジャー	医師・看護師(訪看)・医療ソーシャルワーカー
概要	・病院/在宅/訪問看護におけるACPの実践報告 ・パネリストによるディスカッション	・講義 ・パネリスト5人による発表+講師とのディスカッション	・講義 ・事例紹介 ・座長、講師、パネリストによるディスカッション	・実践報告 ・事例紹介 ・講師、パネリストによる意見交換
配信日	2月9日(水)	2月10日(木)	1月20日(木)	2月25日(金)

★西ブロック

	中村	熱田	中川	港
テーマ	ACP開始のタイミング	ACPをみんなで考えよう	ACPの実施時期及びタイミングについて	実践事例からACPを考える
出演者(職種)	医師・看護師(訪看)・ケアマネジャー	医師・看護師(病院/訪看)・ケアマネジャー(自宅/いきいき)	医師・薬剤師・看護師(訪看)・理学療法士(訪看)・ケアマネジャー	医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・看護師(訪看)
概要	・医師による「ACPの開始のタイミング」を踏まえた事例(認知症) ・訪問看護師による慢性疾患患者の実践事例 ・ケアマネジャーによるがん患者の実践事例 ・実践事例に関する意見交換	・講義 「その人らしく生きる」「いのちの終わりについて話し合いを始める」 ・座談会 「多職種によるACPへの取り組みについて」 事例1：がん末期患者 事例2：認知症患者	・講義 ・事例紹介 「意思決定支援が困難な療養者への支援」 ・意見交換	・講義 「実践事例からACPを考える」 ・座談会：実践事例を通して「ACPを導入するタイミングや支援方法を学ぶ」
配信日	3月2日(水)	3月17日(木)	2月2日(水)	3月25日(金)

★北ブロック

	東	北	西	中
テーマ	ACP開始のタイミング	ACP開始のタイミング	ACPをもっと身近に～事例から考える	本人を置き去りにしないために～意思決定支援を学び、ACPにいかそう
出演者(職種)	薬剤師	医師・看護師(訪看)・ケアマネジャー	医師・ケアマネジャー	医師・医療ソーシャルワーカー・看護師(訪看)
概要	・講義	・講義 ・事例紹介 ・意見交換 「いつ、どこで、どんなことを大切に」	・講義 ・事前質問への回答、総評	・講義 「意思決定支援のプロセスについて」 ・意見交換～事例を通して意思決定支援を考える～
配信日	1月18日(火)	3月3日(木)	2月14日(月)	2月22日(火)

研修会の内容については、上記一覧表をご覧ください。各区概論編の結果を踏まえ、実践にあたって難しいとの声があがった部分に焦点をあてた内容となっています。ACPの基礎的な知識について振り返りを行った区も少なくありません。多職種の皆さんに多くの実践事例を共有していただき、活発な意見交換が行われました。

研修会が終了した7区(2/22時点)のアンケートでは、「家族の価値観に左右され、本人の意思がおざなりになる」「家族と本人の意向が異なる場合の対応が難しい」といった本人の意思決定を元にした支援についての課題、「コロナ禍で連携は工夫が必要」「主治医との連携が現場では少ない」等、ACPには欠かせ

ない多職種連携上の課題が挙がりました。

実践については「ACPと構えずに利用者さんに寄り添う姿勢があればそれが実践ではないか」「どのように生きたいか問う視点があると開始しやすいのではないか」「意思表示の難しい人であっても聴き取る余地を見出すこと、早くから意思を確認していくプロセス」等、様々な気づきが記載されていました。

また、専門職だけではなく地域住民へのACP普及啓発が課題であるという指摘もありました。今後の研修会については、事例で考える研修、グループワーク・ロールプレイを取り入れた研修を行って欲しい、定期的な開催して欲しい等のいただいた意見を元に、取り組みを進めていきます。